

平成 24 事業年度

財団法人周南市ふるさと振興財団事業報告

「市民自らが行う地域づくり活動の振興」を目的として設立された、全国でも数少ない「ふるさと振興を使命とする財団」である財団法人周南市ふるさと振興財団は、平成 24 事業年度に設立 20 周年を迎えた。

地域で支え合い、助け合う「絆」が改めて見直される中、課題の解決や特色を活かした個性的なふるさとづくりに取り組むコミュニティの重要性が高まっており、財団にはコミュニティ活動支援の中核として、より大きな役割を果たしていくことが求められている。

平成 24 事業年度は、「コミュニティの中核組織」としての特徴を強化するため、新たに「コミュニティコーディネート事業」及び「地域間ネットワーク形成事業」を実施、コミュニティ組織の調査などを行った。この成果を平成 25 年度以降の事業展開に活用していく。

地域資源である地場産品や、指定管理者として管理運営を行う公共施設を活用したふるさとづくり活動の振興にも、コミュニティとの関連性の強化を目指しながら、引き続き取り組んだ。

また、平成 25 年 1 月 4 日付けで公益法人制度改革に基づく公益法人への移行認定を申請、3 月 25 日に認定を受け、平成 25 事業年度から「公益財団法人周南市ふるさと振興財団」に移行することとなった。

I 市民が輝くふるさとづくり

決算 1,551,852 円
(予算 1,758,000 円)

市民一人ひとりが、地域コミュニティ活動やテーマ型の市民活動の担い手として、自主的・主体的に参加するふるさとづくりを支援することで、魅力あるふるさとづくりを目指した。

主な経費		財 源	
印刷製本費	199,500 円	基本財産運用収入	813,000 円
負担金補助及び交付金	982,000 円	ふるさと振興基金繰入	944,000 円
通信運搬費・消耗品 等	370,352 円	雑収入	1,000 円

1 コミュニティ（地縁型） 決算 1,029,652 円 (予算 1,180,000 円)

① コミュニティ情報の提供

決算 1,117 円
予算 20,000 円

ふるさとづくり推進プランII「五感で感じるふるさと周南」 P6

幅広い年齢層に周南市のコミュニティ活動情報やコミュニティ組織の必要性等を発信していくため、ホームページを活用した情報提供を行うとともに、コミュニティ情報局において紙面での情報提供を行った。また、周南市市民交流センター内の空きスペースや多目的広場を利用して、各地区コミュニティ組織の活動報告等を掲示し、市民へ情報提供を行った。

◎ コミュニティホームページの運営

ホームページアドレス : <http://gokan-furusato.org/community/community.html>

- ・ コミュニティ総会・交流集会・若者参画事業でホームページを紹介
- ・ 各地区コミュニティに活動情報提供者をお願いしてタイムリーにホームページを更新
- ・ 財団独自で地区の特色あるもの（自然・文化・歴史等）を情報収集し、掲載（周南市市民交流センター内にも写真掲示）
- ・ **各地区の共通行事・名所（どんど焼き・桜の名所）を情報収集し、掲載**
- ・ 訪問者数 月約 11,500 人（前年度 月約 8,500 人）



◎ コミュニティ情報局の運営

- ・ コミュニティイベントチラシの掲示・配布
- ・ コミュニティ誌・公民館報の配布・**バックナンバーの閲覧**



◎ 周南市市民交流センターの多目的広場等を活用した情報提供

- ・ 各地区コミュニティ組織のPRしたい場所等の掲示
- ・ 各地区コミュニティ組織の活動報告の掲示



主な事業費		財 源	
事務用品	1,117 円	基本財産運用収入	9,000 円
		ふるさと振興基金繰入	11,000 円

③ 特色あるコミュニティ活動への支援

決算	433,440 円
予算	506,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P6

市民自らが行う地域づくり活動を推進するため、個性あるふるさとづくり活動を行うコミュニティ団体を広く公募することにより、コミュニティ活動への支援を実施した。要綱により2年継続で助成できることから平成23年度選定された団体に対しても助成を行った。

また、年度途中に当該年度活動の審査委員会を開催すると審査委員会までに実施した活動に対して審査しにくいという意見が審査委員会の中で出された。申請者からも同様な意見をいただいていた。このことについて、審査委員会で協議した結果、前年度末に次年度の活動の審査委員会をすることとなった。

◎ 継続助成対象事業実績（助成100,000円）

ア 設立30周年記念事業「地域の環境美化向上・啓蒙事業」

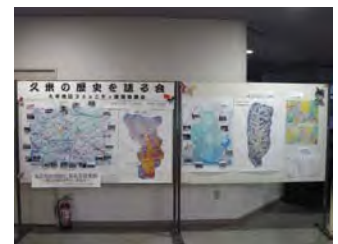
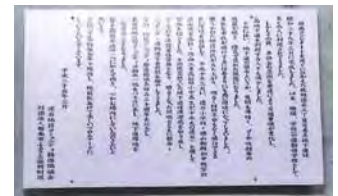
- ㊦ 実施団体 遠石地区コミュニティ推進協議会
- ㊦ 実施内容 ポイ捨て防止看板の設置
地区住民から募った標語等の看板を設置
地下道壁面の補修整備

- ㊦ 総事業費 279,046 円
- ㊦ 助成金額 100,000 円

イ ふるさと久米の郷を遺し隊（9 8隊）

- ㊦ 実施団体 久米地区コミュニティ推進協議会
- ㊦ 実施内容 久米の郷土史講座の開催・史跡巡り・史跡のガイド板の設置

- ㊦ 総事業費 242,294 円
- ㊦ 助成金額 100,000 円



◎ 募集

- ア 期 間 平成24年6月4日（月）～7月2日（月）
- イ 周知方法 周南市コミュニティ推進連絡協議会総会時説明、各地区会長宛に案内送付
- ウ 申請件数 2件

◎ 審査委員会

- ア 期 日 平成24年7月26日（木） 18:30～20:00
- イ 場 所 周南市市民交流センター
- ウ 審査委員 7名（学識経験者1名、周南市地域振興部長、コミュニティ推進課長、理事2名
評議員、事務局長）
- エ 内 容 申請者による事業説明（プレゼンテーション）と質疑応答をもとに、審査委員が事業の先駆性・問題提起・効果等10項目について5段階で採点を行い、審査委員で協議し、助成対象事業2件を決定した。

◎ 助成対象事業実績

ア 徳山小学校区の「盆踊りの開催（復活）」

- ㊦ 実施団体 徳山小学校区コミュニティ推進協議会
- ㊦ 実施場所 中央地区公民館・青空公園・徳山小学校等
- ㊦ 内 容 盆踊り（徳山市民ばやし）の復活
- ㊦ 総事業費 548,912 円
- ㊦ 助成金額 100,000 円



イ 岐山地区今昔物語

- ㊦ 実施団体 岐山地区コミュニティ推進協議会
- ㊧ 実施日 平成24年4月1日～平成25年3月31日
- ㊨ 内容 岐山地区の歴史を纏めた写真集の編纂
- ㊩ 総事業費 545,500円
- ㊪ 助成金額 100,000円

◎ 平成25年度募集

- ア 期間 平成25年1月10日(木)～2月8日(金)
- イ 周知 各地区会長宛に案内送付
- ウ 申請 3件

◎ 審査委員会

- ア 期日 平成25年3月14日(木) 18:30～20:00
- イ 場所 周南市市民交流センター
- ウ 審査員 8名(学識経験者1名、周南市地域振興部長、コミュニティ推進課長、理事3名
評議員、事務局長)
- エ 内容 申請者による事業説明(プレゼンテーション)と質疑応答をもとに、審査委員が事業の先駆性・問題提起・効果等10項目について5段階で採点を行い、審査委員で協議し、助成対象事業3件を決定した。

◎ 助成対象事業

ア 福祉の啓発事業

- ㊦ 実施団体 勝間コミュニティ推進協議会
- ㊧ 実施内容 介護老人保健施設、ペガサス、カン喜への視察研修及び認知症予防講演会の開催。
- ㊨ 総事業費 230,000円
- ㊩ 助成金額 100,000円

イ 第20、21回三丘徳修館まつり

- ㊦ 実施団体 “ほっと三丘”コミュニティ協議会
- ㊧ 実施内容 三丘徳修館及び、徳修公園を会場とした、地域の秋のイベントの開催。20周年記念イベントを開催し、これを機に、祭の運営が後年度に渡り持続可能になるように、収益方法などを見直し、今後の開催に繋げる。
- ㊨ 総事業費 372,500円
- ㊩ 助成金額 100,000円

ウ 地区出身のアスリートに学ぼう

- ㊦ 実施団体 遠石地区コミュニティ推進協議会
- ㊧ 実施内容 遠石小学校卒業生であり、現在はデコレーション・アートで活躍されている「渡辺おさむ」氏に講演を受け、小学生及びその保護者に体験学習をしてもらう。
- ㊨ 総事業費 300,000円
- ㊩ 助成金額 100,000円

主な事業費		財源	
コミュニティ活動助成金	400,000円	基本財産運用収入	234,000円
審査員謝金等	33,440円	ふるさと振興基金繰入	272,000円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P7-①

各地区コミュニティ推進組織を住民サイドに立った支援・推進をしていくためには、現在の組織の現状を把握し、各地区と連携する必要があることから、今年度より、コミュニティコーディネート事業を立ち上げた。今年度は、下記取組を実施し、現状把握・連携に努めた。また、連携を深めたことで、旧大向小学校において大向公民館と共催で大向小学校懐古展を開催することができた。

◎ 公民館主事会への参加

各地区組織の事務局はおおよそ公民館主事であることから主事への挨拶と当事業の説明

◎ 公民館主事訪問と組織（31 地区）の調査

ア 訪問・調査期間 6/6～11/29 1 地区約 2 時間～4 時間

イ 調査結果のまとめと調査に基づく分析

ウ 調査結果・分析を基に各地区組織の共通課題の洗い出し

エ 共通課題を基に平成 25 年度取組の検討・計画

◎ 各地区の総会・活動の視察

岐山地区総会・ナイトフェスタ in 青空・大向納涼まつりなど

◎ 大向小学校懐古展（大向納涼夏まつり）

ア 期日 平成 24 年 8 月 14 日（火） 18:30～22:00

イ 場所 旧大向小学校体育館

ウ 効果 年々まつりへの参加者が減っていたが今年度は、懐古展のおかげで参加する人が増え、楽しんでいただけた。（大向地区コミュニティ協議会会長談）

エ 備考 住民から大好評であったことから 9 月より旧大向小学校の空き教室において懐古展を引き続き実施することとなった。

◎ 周南市地域振興部コミュニティ推進課との連携

周南市地域づくり支援アドバイザー派遣制度等への協力

◎ 公民館主事からの組織に対する相談対応（随時）

◎ 各地区組織からの相談対応（随時）



主な経費		財 源	
職員手当	98,277 円	基本財産運用収入	82,000 円
事務用品等	49,470 円	ふるさと振興基金繰入	95,000 円

④ ふるさと応援隊の支援・推進

決算	349,988	円
予算	363,000	円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P7-①

各地区コミュニティ組織の交流（ネットワーク）を推進し、より広い視点に立ったふるさとづくりの振興と地域の活性化を図るため、活動実践者（リーダー）等によって結成されたふるさと応援隊の支援・推進を行った。また、月1回の定例会において、各地区のコミュニティ推進組織の情報交換を積極的に行った。隊員は、ボランティア活動、イベント応援・開催等の実践を通して得た経験等を自分の地域において活用するとともに、応援隊がコミュニティ活動を支援することで応援先の地域にも刺激を与え、円滑な活動へとつなげるよう相乗効果の発揮に努めた。



- ◎ ふるさと応援隊事務局の運営
- ◎ ふるさと応援隊ホームページの運営
ホームページアドレス：<http://gokan-furusato.org/furusato-oentai/top.html>
- ◎ ふるさと応援隊のレベルアップのための勉強会、講習会等への参加促進
- ◎ 平成23年度活動報告書の作成【別冊：ふるさと応援隊活動報告書添付】
- ◎ 平成24年度 ふるさと応援隊活動

- 意見交換会 ● 勉強会 ★ イベントの開催 ☆ イベントの視察・応援
- ♪ 交流会

vol	期 日	場 所	内 容	参加人数
1	4/1（日） 13:00～16:00	ふるさと産品の店 こあ	☆ “こあの桜まつり” 応援	14名
2	4/21・22（土・日） 9:40～15:00	大道理鹿野地	☆ 芝桜まつり応援	17名
3	5/19（土） 17:00～23:00	周南市 市民交流センター	○ ふるさと応援隊総会 ♪ ふるさと応援隊交流会	20名
4	6/9（土） 17:00～22:00	大道理公民館 周辺	☆ 大道理ホテル鑑賞のタベ 応援・視察	9名
5	6/20（水） 19:00～21:00	ふるさと産品の店 こあ	○ 定例会Ⅰ ○ ふるさと発見伝Ⅻ実行委員会 ● 須金地区のホテルの見物	17名
6	7/19（木） 19:00～21:00	ふるさと産品の店 こあ	○ 定例会Ⅱ ○ ふるさと発見伝Ⅻ実行委員会	22名
7	7/21（土） 17:00～22:00	楠木公園	☆ 楠木納涼ふれあい夏祭り 応援・視察	13名
8	7/22（日） 17:00～22:00	城ヶ丘公園	☆ 桜木地区ふれあい夏祭り 応援・視察	17名
9	8/4（土） 17:00～22:00	久米小学校 グラウンド	☆ 久米地区 ふるさと夏まつり応援・視察	22名
10	8/22（水） 19:00～21:00	ふるさと産品の店 こあ	○ 定例会Ⅲ ○ ふるさと発見伝Ⅻ実行委員会	19名
11	8/25（土） 16:00～22:30	須磨小学校 グラウンド（須金）	☆ 須金なし・ぶどうまつり2011 応援・視察	25名

Vol	期 日	場 所	内 容	参加人数
12	9/20 (木) 19:00~21:00	ふるさと産品の店 こあ	○ 定例会Ⅳ ○ ふるさと発見伝Ⅺ実行委員会	19名
13	10/13 (土) 10:00~14:30	桜木小学校	○ 桜木地区文化祭の応援・視察	14名
14	10/17 (水) 19:00~21:00	ふるさと産品の店 こあ	○ 定例会Ⅴ ○ ふるさと発見伝Ⅺ実行委員会	21名
15	10/26 (金) 18:00~22:00	周南市 市民交流センター	○ ふるさと発見伝Ⅺ実行委員会 (前日準備)	26名
16	10/27 (土) 9:00~17:00	周南市 市民交流センター	★ ふるさと発見伝Ⅺの開催	29名
17	10/28 (日) 9:00~15:00	のんた祭り 青空公園会場	☆ のんた祭り(出店)の応援・視察	5名
18	11/14・21・28 12/5 (水) 19:00~21:00	市民交流センター	● ファシリテーター 養成講座への参加	3名
19	11/15 (木) 18:30~22:00	周南市内	○ 定例会Ⅵ ○ 発見伝Ⅺ反省会・忘年会	22名
20	12/28 (金) 8:45~15:00	ふるさと産品の店 こあ	☆ こあ歳末市の応援	16名
21	1/17 (木) 19:00~21:00	ふるさと産品の店 こあ	○ 定例会Ⅶ ♪ 新年会	18名
22	2/20 (水) 19:00~21:00	ふるさと産品の店 こあ	○ 定例会Ⅷ	18名
23	3/16 (土) 17:30~21:00	テアトル徳山	● 周南市コミュニティ 若者参画事業への参加	26名
24	3/28 (木) 19:00~21:00	ふるさと産品の店 こあ	○ 定例会Ⅸ ♪ 花見	20名
他	通年	事務局	ホームページの運営	
延べ参加人数				458名



ふるさと発見伝Ⅺの開催



須金地区の梨ぶどう祭りの応援

主な事業費		財 源	
活動報告書の印刷製本費	199,500 円	基本財産運用収入	168,000 円
燃料費	75,363 円	ふるさと振興基金繰入	194,000 円
活動案内他郵送料	75,125 円	雑収入	1,000 円

⑤ コミュニティアクションリーダー養成講座

決算	0 円
予算	14,000 円

ふるさとづくり推進プランII「五感で感じるふるさと周南」 P7-①

コミュニティ推進組織における次世代の人材育成を支援することを目的に、若者が地域活動に積極的に参画し、他の組織等とのネットワークを構築する場を提供した。

【※ ⑥ 周南市コミュニティ推進連絡協議会 若者参画事業と共催事業のため省略】

主な事業費	財源
0 円	基本財産運用収入 6,000 円
	ふるさと振興基金繰入 8,000 円

⑥ 周南市コミュニティ推進連絡協議会事務局の運営

決算	97,360 円
予算	100,000 円

ふるさとづくり推進プランII「五感で感じるふるさと周南」 P7-①

周南市市民交流センターをコミュニティ交流拠点とし、周南市コミュニティ推進連絡協議会の事務局を運営した。協議会が実施している情報交換、研修会等の交流事業を支援し、充実を図った。

◎ 設立5周年記念誌「わたしたちのコミュニティ」完成報告

- ア 期 日 平成24年4月19日(木) 10:30～
- イ 場 所 周南市役所 市長室
- ウ 参加者 周南市長
周南市コミュニティ推進連絡協議会 会長・副会長
- エ 内 容 周南市長への完成報告 等



◎ 役員会

- ア 期 日 平成24年5月24日(木) 14:00～
- イ 場 所 周南市徳山保健センター
- ウ 参加者 周南市コミュニティ推進連絡協議会 役員
- エ 内 容 総会概要・提出議題の協議 等

◎ 総会

- ア 期 日 平成24年6月1日(金) 15:00～
- イ 場 所 周南市徳山保健センター
- ウ 参加者 各地区コミュニティ推進組織会長及び代理等
- エ 内 容 事業報告、収支決算、
事業計画、収支予算、情報交換 等



◎ 視察対応

- ア 期 日 平成24年10月25日(木) 13:30～
- イ 場 所 周南市市民交流センター
- ウ 相手方 福岡県朝倉市コミュニティ推進組織の会長
- エ 内 容 概要説明・各地区の活動紹介等

◎ 交流集会

- ア 期 日 平成 24 年 11 月 17 日 (土) 13:30~19:00
イ 場 所 長穂地区 (長穂公民館他)
ウ 参加者 18 地区コミュニティ推進組織等より 65 名参加
エ 内 容 長穂地区の活動紹介
(ほたる祭りの概要・青年部活動・龍門寺視察等)
久米地区の事業紹介、情報交換会等



◎ 三団体合同交流会

- ア 期 日 平成 24 年 12 月 17 日 (月) 18:00~
イ 場 所 周南市内
ウ 参加者 16 地区コミュニティ推進組織等より 51 名参加
エ 内 容 交流会

◎ 三団体合同視察研修

- ア 期 日 平成 25 年 2 月 7 日 (木) 8 日 (金)
イ 視察地 佐賀県武雄市
ウ 参加者 9 地区コミュニティ推進組織等より 25 名参加
エ 内 容 市立図書館の民間委託・イノシシ肉の特産化の講義



◎ 設立 5 周年記念事業 ふるさとがたり in 周南

- ア 期 日 平成 25 年 3 月 16 日 (土) 17:20~20:45
イ 場 所 テアトル徳山 I
ウ 参加者 23 地区コミュニティ推進組織等より 178 名参加
エ 内 容 ふるさとがえりの映画上映
映画プロデューサー・岐阜県恵那市民代表 (映画発起人)
によるトークショー



◎ 設立 5 周年記念事業 若者参画事業

- ア 期 日 平成 25 年 3 月 16 日 (土) 21:00~
イ 場 所 周南市内
ウ 参加者 映画脚本家・えなここ代表 (映画発起人) 周南市長
長穂青年部・桜田会・Team376・Tengoo・廣澤
事務局 計 17 名
エ 内 容 ゲストを交えての若者の組織・団体の交流会



◎ 事務局担当者研修会

- ア 期 日 平成 25 年 3 月 30 日 (土) 14:00~
イ 場 所 周南市市民交流センター 小会議室
ウ 参加者 5 地区コミュニティ推進組織等より 13 名参加
エ 内 容 SNS を使った地区の情報提供



◎ その他

ア イベント器材の貸出

貸出器材 ガーデンテーブル・チェア、音響器材、パソコン、綿菓子器 等
貸出件数 252 件

イ コミュニティ関連の情報収集・提供

主な事業費		財 源	
三団体研修会等負担金	82,000 円	基本財産運用収入	46,000 円
事務用品等	15,360 円	ふるさと振興基金繰入	54,000 円

③ 地域間ネットワーク形成事業	予算	0 円
	H24 予算	0 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P7-①

現在周南市も高齢化が進み、各地区コミュニティ推進組織の原点でもある小中学校も統廃合している状況である。そういったことから今後は、地区間のネットワーク形成が必要となってくる。また、防災の面から、平成 23 年に起こった東日本大震災で、被害にあった住民を助けられるのは被害の少ない住民であることから、地区間のネットワークが確立できれば、そういった体制が整っていくと考える。

そこで、平成 24 年度より、地区間ネットワーク形成事業を立ち上げた。今年度は、公民館主事を対象に現状を調査し、今後の事業展開への足がかりとした。

主な経費	財 源
0 円	0 円

情報収集・提供

- ① コミュニティ情報の提供
- ② 先進地視察

活動支援

- ③ 特色あるコミュニティ活動への支援
- ③② コミュニティコーディネート事業

人材育成

- ④ ふるさと応援隊の支援・推進
- ⑤ コミュニティアクションリーダー養成講座

環境づくり

- ⑥ 周南市コミュニティ推進連絡協議会事務局の運営
- ③③ 地域間ネットワーク形成事業

⑦ 市民活動情報の提供

決算	0 円
予算	7,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P8

周南市市民活動支援センターや各市民活動グループから収集した市民活動情報を周南市市民交流センター2階の情報コーナーや多目的広場等で配布・掲示を行った。

◎ 市民活動情報の収集

（提供者：市民活動団体・周南市市民活動支援センター 等）

- ◎ 周南市市民交流センター2階の情報コーナーにおいてチラシ・広報誌を配布
- ◎ 周南市市民交流センター2階の多目的広場・階段・壁面等でイベントポスター・活動報告等を掲示



主な経費	財源
0 円	基本財産運用収入 3,000 円
	ふるさと振興基金繰入 4,000 円

⑧ 特色ある市民活動への支援

決算	522,200 円
予算	537,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P8

市民活動を促進するため、市内で活動する市民活動団体が新たに行う事業、新たな展開が図れる事業案を広く募集し、テーマ型の特色あるふるさとづくり活動に対し、「しゅうなん元気活動支援事業助成金」を交付することにより、市民活動団体の活動のレベルアップを支援した。

また、年度途中に当該年度活動の審査委員会を開催すると審査委員会までに実施した活動に対して審査しにくいという意見が審査委員会の中で出された。申請者からも同様な意見をいただいていた。このことについて、審査委員会で協議した結果、前年度末に次年度の活動の審査委員会をすることとなった。

◎ 募集

ア 期間 平成24年5月16日（水）～6月14日（木）

イ 周知 市広報、財団・周南市市民活動支援センターの各ホームページ、周南市市民活動グループバンク登録グループへのEメール送付

ウ 申請 6件

◎ 審査委員会

ア 期日 平成24年6月28日（木）18:15～21:00

イ 場所 周南市市民交流センター

ウ 審査員 7名（市民活動促進協議会委員1名、理事2名、評議員2名、周南市地域振興部長、事務局長）

エ 内容 申請者による事業説明（プレゼンテーション）と質疑応答をもとに、審査委員が事業の先駆性・問題提起・効果等10項目について5段階で採点を行い、審査委員で協議し、助成対象事業5件を決定した。



◎ 助成対象事業実績

ア 長穂「軽トラ市」

- ㊦ 実施団体 長穂軽トラ市実行委員会
- ① 実施内容 軽トラによる、農産物・特産物などの販売。出品者は長穂地区に限らず、周南市北部地区・市内各地から募集し、約 30 台の出店を計画中。若い人の参加も促すために、フリーマーケット的な要素も取り入れた、参加し易い「市」にする。



- ㊦ 総事業費 160,000 円
- ㊥ 助成金額 100,000 円

イ れんげまつり

- ㊦ 実施団体 戸田地区コミュニティ推進協議会
- ① 実施内容 民有地の田を借り秋にれんげの種まき、翌春 4 月にれんげ田の中で自由に遊べるイベントを開催する。場所は「道の駅」に隣接する田圃を借用して「道の駅」を利用する方向で企画している。



- ㊦ 総事業費 252,000 円
- ㊥ 助成金額 100,000 円

ウ 「コミュニティくめーる」配信事業

- ㊦ 実施団体 久米地区コミュニティ推進協議会
- ① 実施内容 久米地区コミュニティ推進協議会を主体として、地区内の主な団体等などが共同して地区内のメール登録者へ行事などの配信サービスを行う。

- ㊦ 総事業費 100,000 円
- ㊥ 助成金額 100,000 円

エ 三味・民謡ボランティア

- ㊦ 実施団体 かえる会
- ① 実施内容 日本文化の三味線、民謡を通じて、福祉施設の訪問を行い、内容充実の強化を図る。



- ㊦ 総事業費 231,000 円
- ㊥ 助成金額 100,000 円

オ 認知症予防のための啓発活動

- ㊦ 実施団体 勝間コミュニティ推進協議会
- ① 実施内容 認知症予防のための講演会の開催。

- ㊦ 総事業費 155,000 円
- ㊥ 助成金額 100,000 円



◎ 平成 25 年度募集

ア 期 間 平成 25 年 1 月 16 日（水）～2 月 15 日（金）

イ 周 知 市広報、財団・周南市市民活動支援センターの各ホームページ、周南市市民活動グループバンク登録グループへの E メール送付

ウ 申 請 6 件

◎ 審査委員会

ア 期 日 平成 25 年 3 月 21 日 (木) 18:15~21:00

イ 場 所 周南市市民交流センター

ウ 審査員 6 名 (市民活動促進協議会委員 1 名、理事 1 名、評議員 2 名、周南市地域振興部長事務局長)

エ 内 容 申請者による事業説明 (プレゼンテーション) と質疑応答をもとに、審査委員が事業の先駆性・問題提起・効果等 10 項目について 5 段階で採点を行い、審査委員で協議し、助成対象事業 6 件を決定した。

◎ 助成対象事業

ア 太華山活用リレープラン

㊦ 実施団体 櫛浜地区コミュニティ推進協議会

㊧ 実施内容 例年単発的に行なってきた事業をリレー形式で行なう方式をとり、地区の全容を参加者に理解してもらえるよう全ての事業への参加を促す。事業内容の充実化を図ると共に、地区外への発信を今まで以上に強める。

㊨ 総事業費 330,000 円

㊩ 助成金額 65,000 円

イ ものづくり科学教室

㊦ 実施団体 日本宇宙少年団周南分団

㊧ 実施内容 毎月一回の定例“ものづくり科学教室”を実施する。

㊨ 総事業費 228,500 円

㊩ 助成金額 65,000 円

ウ 福川南地区民俗・文化遺産継承事業

㊦ 実施団体 福川南地区町づくり協議会

㊧ 実施内容 郷土の歴史を調査再認識し、現在の暮らしを見つめ直して、一冊の読本に編集して、自治会、学校、図書館に配布、郷土に関心と愛着を持てる一助とする。

㊨ 総事業費 750,000 円

㊩ 助成金額 100,000 円

エ 第 10 回記念「山陽道を歩こう」

㊦ 実施団体 山陽道を歩こう会

㊧ 実施内容 市政 10 周年、当イベントもちょうど 10 周年を迎えるので、記念ウォーク (無料) を行う。また、徳山藩域のガイドブックを作成する。

㊨ 総事業費 200,000 円

㊩ 助成金額 100,000 円

オ 和田っ子の米作り・もちつきを世界に発信!

㊦ 実施団体 TEAM376

㊧ 実施内容 和田地区の休校田を借受け、もち米を栽培する。もち米を栽培する過程の作業は、「農業体験」として、地区内の子供など、幅広く参加者を募って行なう。また、収穫したもち米を使って、餅つきを行い、広く活用していく。

㊨ 総事業費 120,000 円

㊩ 助成金額 100,000 円

カ 穂～みのり～

- ア 実施団体 穂～みのり～運営委員会
- イ 実施内容 龍文寺での自然を感じるイベントの開催と、長穂地区にて継承される「長穂念仏踊」の復活披露を行う。
- ウ 総事業費 100,000 円
- エ 助成金額 70,000 円

主な事業費		財 源	
市民活動助成金	500,000 円	基本財産運用収入	249,000 円
審査員謝金等	22,200 円	ふるさと振興基金繰入	288,000 円

⑨ 市民活動講座の開催	決算	0 円
	予算	27,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P8

市民活動グループ運営のための市民活動講座を実施するとともに、活動のレベルアップを目的とするファミリーライター養成講座を周南市市民活動支援センターと共同開催した。

◎ 市民活動講座

ア 助成金活用講座

- ア 期 日 平成 24 年 6 月 2 日（土）9 日（土）
- イ 会 場 周南市徳山保健センター
- ウ 講 師 村林康彦氏（周南市市民活動支援センター）
- エ 参加数 延べ 18 名
- オ 内 容 情報探しと申請書作成のポイント



イ イベント企画運営講座

- ア 期 日 平成 24 年 8 月 18 日（土）
- イ 会 場 周南市新南陽ふれあいセンター
- ウ 講 師 平田隆之氏（NPO 法人市民プロデュース副理事長）
- エ 参加数 9 名
- オ 内 容 企画立案と人集めのポイント



ウ NPO 法人啓発講座

- ア 期 日 平成 24 年 8 月 25 日（土）9 月 8 日（土）
- イ 会 場 周南市市民交流センター
- ウ 講 師 伊藤彰氏（やまぐち県民活動支援センター長）
- エ 参加数 延べ 13 名
- オ 内 容 NPO 法人設立に必要な手続き



エ 情報発信講座

- ア 期 日 平成 24 年 10 月 4 日（木）10 月 11 日（木）
- イ 会 場 周南市市民交流センター
- ウ 講 師 平田隆之氏（NPO 法人市民プロデュース副理事長）
- エ 参加数 延べ 16 名
- オ 内 容 ツイッターを使用した情報発信



オ コミュニケーションスキルアップ講座

- ㊦ 期 日 平成 24 年 10 月 20 日 (土)
- ㊧ 会 場 周南市市民交流センター
- ㊨ 講 師 船崎美智子氏 (NPO 法人市民プロデュース理事長)
- ㊩ 参加数 2 名
- ㊪ 内 容 円滑な会議運営

カ 市民活動団体の経理講座

- ㊦ 期 日 平成 25 年 2 月 23 日 (土) 3 月 10 日 (日)
- ㊧ 会 場 周南市市民交流センター・徳山保健センター
- ㊨ 講 師 中村久枝氏 (NPO 法人日本フィナンシャルプランナーズ協会山口支部長)
- ㊩ 参加数 22 名
- ㊪ 内 容 経理・決算のポイント

キ 市民活動団体の情報発信講座

- ㊦ 期 日 平成 25 年 3 月 24 日 (日)
- ㊧ 会 場 周南市市民交流センター
- ㊨ 講 師 中村浩樹氏 坂本政道氏 (株式会社ふじたプリント社)
- ㊩ 参加数 20 名
- ㊪ 内 容 円滑な会議運営

㊫ ファシリテーター養成講座

- ア 期 日 平成 24 年 11 月 14 日 (水) 21 日 (水) 28 日 (水)
12 月 5 日 (水) 9 日 (日) 15 日 (土)
- イ 会 場 周南市市民交流センター 周南市徳山保健センター
- ウ 講 師 NPO 法人市民プロデュース
船崎美智子 氏 平田隆之 氏 吉岡恵美 氏
- エ 参加数 延べ 45 名
- オ 内 容 会議進行の技等



主な事業費	財 源
0 円	基本財産運用収入 13,000 円
	ふるさと振興基金繰入 14,000 円

⑩ 市民活動拠点施設の調査

決算	0 円
予算	7,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P8

現在、周南市の市民活動拠点施設としては、周南市市民交流センター内の周南市市民活動支援センター及び福川地区にある周南市西部市民活動支援センターがある。平成 24 年度は、コミュニティ推進組織を中心に活動拠点の現状について調査した。

主な事業費	財 源
0 円	基本財産運用収入 3,000 円
	ふるさと振興基金繰入 4,000 円

情報収集・提供

- ⑦ 市民活動情報の提供

活動支援

- ⑧ 特色ある市民活動への支援

人材育成

- ⑨ 市民活動講座の開催

環境づくり

- ⑩ 市民活動拠点施設の調査

II ものからひとへのふるさとづくり

決算 8,501,104 円
 (予算 8,783,000 円)

地場産品には環境保全や伝統・文化の継承といった働きもあることから、地域おこしのために欠かせない原動力のひとつである。

そこで、地場産品を通して都市と農山漁村との人とひととのふれあい・交流を大切にしながら地産地消を推進した。また、周南市の地場産品について興味・関心を持ち、より理解を深めるきっかけづくりと体験を通じた学ぶ場を提供し、もの（地場産品）からひと（ふるさとづくりの担い手）へと心のつながるふるさとづくりを目指した。

主な経費		財源	
人件費	5,707,123 円	基本財産運用収入	1,015,000 円
消耗品費	295,625 円	周南市補助金	802,000 円
光熱水費	1,211,403 円	販売手数料	5,264,000 円
材料及び賃借料	673,028 円	ふるさと振興基金繰入	1,252,000 円
公課費等	613,925 円	雑収入	450,000 円

1 都市と農山漁村の交流

決算 8,323,740 円 (予算 8,558,000 円)

⑪ 地場産品の情報の提供

決算 1,779,211 円
 予算 1,818,000 円

ふるさとづくり推進プランII「五感で感じるふるさと周南」 P9

生産者の思い入れや料理方法など、地域の魅力を紙面やホームページ、周南市市民交流センター及びふるさと産品の店“こあ”で情報発信し、地場産品への愛着と理解を深めてもらうきっかけづくりに努めた。

また、地場産品に関する理解を深めてもらうため、財団の機関紙「ふるさとかわら版」で特色ある地場産品や生産者、調理・加工方法等の情報発信を行った。

◎ ふるさと産品の店“こあ”での地場産品の紹介

◎ 生産者・郷土料理等紹介、レシピの配布

ア 生産者取材

せせらぎ豆腐（大潮田舎の店）、マコモタケ（大島：白鳩学園）、
 自然生とむかご（湯野：やまいもまつり）、徳山みそ（須々万加工
 場グループ）、よもぎ食パン（須金：なかや）

イ レシピ作成

きゅうりの佃煮、ゴーヤの佃煮、バナナ&きゅうりジュース、マ
 コモタケの酢の物、マコモタケの酢の物、マコモタケのきんぴら、ヨ
 ーグルトジャムのアイス、米粉のホットケーキ

ウ 配布場所

市民交流センター、ふるさと産品の店“こあ”、ホームページ、【新
 規】生涯学習センター



生涯学習センターで紹介

◎ 報道機関と連携した情報の提供 【新規】

ア ケーブルテレビ

- ㊦ 生産者紹介「見てこれサネッティ」
- ① 期間 10月より月1回放送
- ㊧ 内容 10月 マコモタケ（大島：白鳩学園）
11月 自然生とむかご（湯野：やまいもまつり）
12月 しめ縄飾り（鹿野高齢者生産活動センター）
2月 徳山みそ（須々万加工場グループ）
3月 よもぎ食パン（須金：なかや）



生産者への取材風景（マコモタケ）



新聞に連載「地域食体験リレー」

イ 新聞社

- ㊦ 地域食体験リレー実施内容・レシピ紹介
- ① 内容 2月 長野山編
2月 熊毛編
3月 八代編

◎ 体験会・イベント等の報告

◎ ふるさと製品の店“こあ”ホームページの運営

アドレス <http://gokan-furusato.org/koa/index.html>

◎ ふるさとかわら版による地場産品の紹介

ふるさとかわら版 年3回 各2,000部発行

◎ 地場産品ガイドブックの配布

◎ 周南市推奨品の紹介



“こあ”ホームページ

主な事業費		財 源	
人件費	1,544,250 円	基本財産運用収入	842,000 円
燃料費	51,700 円	ふるさと振興基金繰入	976,000 円
事務用品等	183,261 円		

⑫ 市内外出張販売による地場産品の普及活動

決算	173,640 円
予算	178,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P9

ふるさと製品の店“こあ”や朝市・夕市の利用者のほか、周南市の地場産品を広く知ってもらうため、市内で実施され多数の集客が見込まれるイベントに出張販売することで、地場産品の普及活動を行った。

◎ 周南コンベンションシティの推進

ア 連携団体；財団法人周南市体育協会

我がまちスポーツ推進事業の一環として、キンビバレッジ周南総合スポーツセンターで実施された各種大会において、財団法人周南市体育協会と十分に協議を行いながら、県外から来場された方々におもてなしをするため地場産品のPRと販売を行った。



回	期 日	イベント名
1	8/25（土）	中国四国学生柔道体重別選手権大会

回	期 日	イベント名
2	10/13 (土) 10/14 (日)	中国ブロック小学生ハンドボール交流会
3	11/4 (日)	中国なぎなた選手権
4	11/10 (土)	全日本マスターズ柔道大会
5	11/24 (土)	中国実業団バスケットボール選手権大会
6	12/1 (土)	中国地区小学生インドアテニス選手権大会
7	12/9 (日)	スポーツひのまるキッズ中国小学生柔道大会
8	1/12 (土)	伊藤杯徳山オープン卓球大会

イ 連携団体；周南市

回	期 日	場 所	イベント名
1	5/23 (水)	周南市文化会館	日本港湾協会総会
2	6/9 (水)	麒麟ビバレッジ 周南総合スポーツセンター	中国高等学校柔道大会
3	7/14 (土)	麒麟ビバレッジ 周南総合スポーツセンター	中国市役所バトミントン大会
4	7/21 (土)	麒麟ビバレッジ 周南総合スポーツセンター	全国クラブハンド選手権西地区大会
5	8/30 (木) 8/31 (金)	ザ・グラマシー	日本水道局協会中四国地方支部会議
6	9/16 (日)	廿日市	広島全国神楽舞

ウ その他 周南市、周南市観光協会等が出席される各種催し及び県人会等への情報提供を行った。

しゅうなん美味しいMAP、産品紹介チラシ等を配布した。

◎ 各会場での普及活動

回	期 日	場 所	イベント名
1	4/7 (土) 4/8 (日)	麒麟ビバレッジ 周南総合スポーツセンター	花とワインフェスティバル
2	4/12 (木)	周南市役所売店前	市役所販売
3	4/21 (土)	大道理芝桜会場	芝桜まつり
4	5/10 (木)	周南市役所売店前	市役所販売
5	5/20 (日)	周南市晴海埠頭	第5回周南路まるごとウォーク
6	6/14 (木)	周南市役所売店前	市役所販売
7	7/12 (木)	周南市役所売店前	市役所販売
8	8/9 (木)	周南市役所売店前	市役所販売
9	9/13 (木)	周南市役所売店前	市役所販売
10	10/11 (木)	周南市役所売店前	市役所販売
11	10/27 (土)	周南市市民交流センター	ふるさと発見伝X
12	11/6 (火)	サンウイング熊毛	母親クラブ県東部研修会
13	11/8 (木)	周南市役所売店前	市役所販売
14	12/13 (木)	周南市役所売店前	市役所販売
15	12/23 (祝)	周南市市民交流センター	冬のツリーまつりえんがわ祭

回	期 日	場 所	イベント名
16	1/10 (木)	周南市役所売店前	市役所販売
17	2/14 (木)	周南市役所売店前	市役所販売
18	3/10 (日)	津田恒美メモリアムスタジアム	プロ野球オープン戦
19	3/14 (木)	周南市役所売店前	市役所販売
20	3/16 (土)	テアトル徳山	ふるさとがたり

主な事業費		財 源	
イベントスタッフ人件費	164,940 円	基本財産運用収入	19,000 円
事務用品等	8,700 円	ふるさと振興基金繰入	22,000 円
		雑収入	137,000 円

⑭ ふるさと朝市・夕市及び普及イベントの支援	決算	78,593 円
	予算	82,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P9

人とひととが関わる「人や心」の交流と、地産地消を推進する「ものの交流」を通して、消費者と生産者が相互理解を深めるため、直接ふれあう朝市・夕市を支援した。

また、生産者グループが主体となって実施されている朝市・夕市連絡協議会で、よりよい運営・イベント等について協議し、産地、生産者等についての理解を深めてもらえるように努めた。

- ◎ 朝市 毎週月曜日 8:30~10:30
- ◎ 夕市 毎週木曜日 13:00~16:00
- ◎ 桜まつり 4月1日(日)
- ◎ 夏祭り 8月23日(木) 【新規】
- ◎ 地産地消フェア(ルーラル315・376 フェスタ)
11月10日(土)
- ◎ 歳末市 12月28日(金)
- ◎ ふるさと朝市・夕市連絡協議会の開催 団体数 16グループ(野菜、鮮魚、花、パン等)



回	期 日	内 容
1	6/4 (月)	こあの桜まつりの気づきについて、運営について
2	6/24 (日)	親睦会
3	10/15 (月)	こあの地産地消フェア(ルーラル315・376 フェスタ)について、運営について、歳末市について
4	11/19 (月)	こあの地産地消フェア(ルーラル315・376 フェスタ)の気づきについて、歳末市について、運営について
5	2/18 (月)	運営について、こあの桜まつりについて

主な事業費		財 源	
事務用品等	78,593 円	基本財産運用収入	38,000 円
		ふるさと振興基金繰入	44,000 円

⑮ 食農ボランティア活動の支援

決算	23,470 円
予算	24,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P10

周南市大田原自然の家の小麦や大豆、野菜などの栽培をするためのボランティア活動を支援した。



◎ 年間 14 回実施（毎月）

主な事業費		財 源	
燃料費	13,470 円	基本財産運用収入	11,000 円
通信運搬費	10,000 円	ふるさと振興基金繰入	13,000 円

⑯ 地場産品推進拠点施設の運営

決算	6,268,826 円
予算	6,456,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P10

周南市の中心（まちなか）で都市と農山漁村をつなぐ橋渡しと、「人と地域の魅力」を多くの方に知っていただくことを目指し、ふるさと産品の店“こあ”で地域の産品を手に取り、身近に感じてもらえる運営に努めた。

◎ 地域の日の実施

鹿野の日、和田の日、熊毛の日、八代の日等、朝市・夕市で紹介できない周辺地域のものを集中して紹介

◎ 郷土の日の実施（毎週金曜日）

◎ エコスタンプの実施

◎ 店舗道路沿いに産品や店内風景等の写真の掲示

◎ 生者者及び地域の写真の掲示

◎ 店内リニューアル



主な事業費		財 源	
人件費	3,997,933 円	販売手数料	5,264,000 円
光熱水費	1,211,403 円	周南市補助金	802,000 円
建物等賃借料	673,028 円	雑収入	313,000 円
公課費等	386,462 円	ふるさと振興基金繰入	77,000 円

情報収集・提供

- ⑪ 地場産品の情報の提供
- ⑫ 市内外への出張による地場産品の普及活動

活動支援

- ⑭ ふるさと朝市・夕市及び普及イベントの支援

人材育成

- ⑮ 食農ボランティア活動の支援

環境づくり

- ⑯ 地場産品推進拠点施設の運営

2 食農・食育 決算 177,364 円 (予算 225,000 円)

⑰ 地場産品に関する体験講習会の開催	決算	164,634 円
	予算	209,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P11

地場産品をより身近に感じる場づくりと、生産者と消費者の交流に努め、周南市の地場産品に対する理解をさらに深めてもらうきっかけづくりを行った。

下記に実施した内容は、イベント報告としてレシピとあわせてホームページに掲載した。

◎ 地域食体験リレー

今残しておかないと消えてしまう郷土料理、昔ながらの味を伝承していくこととあわせ、作る人を知るきっかけづくりを行い、地域のファンづくりを行うことを目的に10回実施した。

生産者・加工グループ交流会で協議し、各地区加工所等と連携しながら新たに取り組んだ。



期 日	編	内 容	講師（実施者）	参加者
6/2（土）	長野山編	こんにゃく寿司、わさびの白和え他	長野山生改連	8名
7/7（土）	熊毛編	なすのはさみ揚げ、 なすのじゅんさい風吸い物他	熊毛農産物加工所	10名
8/4（土）	八代編	米粉入りピッツア、トマトとベーコン・ジャガイモのスープ他	八代農産物加工所	10名
9/1（土）	大潮編	おからサラダ、いなり寿司他	大潮田舎の店	8名
10/6（土）	TEAM376編	塩麴パスタ、高瀬味噌パイ包み焼き他	TEAM376	10名
11/16（金）	須々万編	徳山漬寿司、そば饅頭他	須々万加工場グループ	10名
12/1（土）	中須編	うずら豆寿司、茶碗蒸し他	中須相地グループ	9名
1/18（金）	大田原編	そばふりこ雑炊、他	大田原自然の家	10名
2/2（土）	福川編	から寿司、イリコだしのお味噌汁他	新南陽マリンレディース	10名
3/8（金）	和田編	高瀬茶ごはん、こんにゃくの白和え	和田農産物加工所	10名

◎ その他の体験教室

期 日	内 容	講師（実施者）	参加者
4/1（日）	八代みそ試食会	八代農産物加工所	こあの桜まつり来場者
4/1（日）	フラワーアレンジメント	吉山花園	約 20 名
6/30（土）	しそジュースづくり	坪井智子	16 名
10/13（土）	ニシノカオリでパンづくり	三丘パン研究会	14 名
11/10（土）	木工体験	厚東健二	約 25 名
11/10（土）	周南スープ試食	周南市食生活改善推進協議会	100 名
11/10（土）	地産地消ピザづくり体験	ふるさと製品の店“こあ”	8 組
11/10（土）	フラワーアレンジメント	吉山花園	約 20 名
12/28（金）	そば打ち体験	須々万加工場グループ	約 10 組
2/16（土）	みそづくり体験	周南市大田原自然の家 松原ますみ	15 名

主な事業費		財 源	
講師謝金	123,000 円	基本財産運用収入	97,000 円
事務用品等	41,634 円	ふるさと振興基金繰入	112,000 円

⑩ 食育体験プログラムの提供

決算	0 円
予算	0 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P11

周南市大田原自然の家で、加工食品作り、農作業体験等の食育体験のプログラムを提供した

◎ 主な体験活動

パン作り、そば打ち、こんにゃく作り、野外炊事、田植え、稲刈り 等



主な事業費		財 源	
	0 円		0 円

⑪ 子ども・家族対象の食農・食育活動

決算	4,929 円
予算	8,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P11

子どもとその家族を対象とする食農・食育体験事業や、「食」に関する講座をふるさと製品の店“こあ”と周南市大田原自然の家で実施した。地場産品を愛する心を育み、安心・安全な「食」を次世代に引き継ぐことを目指した。

実施にあたっては、「ふるさと製品の店“こあ”」と「周南市大田原自然の家」が連携しながら取り組んだ。

◎ 「こあ」ってどんなところ？

ア 期 日 平成 24 年 7 月 30 日（月）

イ 参加者 市内小学生 10 名

ウ 内 容 生産者との交流、販売実習、地元食材料理の食事、生産場所学習

エ 協力者 ふるさと朝市・夕市連絡協議会



◎ 周南市大田原自然の家食農・食育事業

- ・ 大地を耕し作物をつくる家族のつどい（8回シリーズ）
- ・ おおたばら食農学校（7回シリーズ）
- ・ 米こめ大作戦（田植え・稲刈り）
- ・ おおたばらどろんこむら（4回シリーズ）
- ・ 自然まるかじり（春、秋）
- ・ おおたばら収穫祭（11月）
- ・ 桃の節句を迎える家族のつどい（3月）



主な事業費		財 源	
事務用品	4,929 円	基本財産運用収入	4,000 円
		ふるさと振興基金繰入	4,000 円

⑳ 食農・食育体験農園の管理

決算	7,801 円
予算	8,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P11

子ども達が気軽に野菜の収穫体験ができるように周南市大田原自然の家に「ちびっ子農園」を設置し、野菜の栽培など農園の管理を行った。



主な事業費		財 源	
活動用品・肥料代	7,801 円	基本財産運用収入	4,000 円
		ふるさと振興基金繰入	4,000 円

情報収集・提供

- ⑰ 地場産品に関する体験講習会の開催

活動支援

- ⑱ 食育体験プログラムの提供

人材育成

- ⑲ 子ども・家族対象の食農・食育活動

環境づくり

- ⑳ 食農・食育体験農園の管理

III 明日へつなげるふるさとづくり

決算 78,983,606 円
 (予算 83,134,000 円)

周南市の各地域で培われてきた伝統や文化、豊かな自然と風土、活発な産業活動などの地域資源を基盤として、地域特性を活かしたふるさとづくりとネットワークの更なる充実に取り組み、地域の財産を次世代に継承できるよう、通信会員・拠点施設の利用者の増加・情報や体験プログラムの提供など市民の自主的・主体的なふるさとづくり活動を支援した。

主な事業費		財源	
人件費	37,754,297 円	基本財産運用収入	660,000 円
光熱水費	10,564,483 円	会費収入	420,000 円
委託料	19,582,224 円	周南市指定管理料	80,945,000 円
材料及び賃借料	2,027,919 円	ふるさと振興基金繰入金	1,109,000 円
消耗品費等	9,054,683 円	雑収入	82,000 円

② ふるさとづくりに関する情報の提供

決算 104,923 円
 予算 118,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P12

周南市市民交流センターを「ふるさとづくり情報の拠点」と位置付け、財団の情報インターネットで、広く市民に提供するため、財団関連のホームページ（コミュニティ推進連絡協議会・ふるさと応援隊・ふるさと産品の店“こあ”・周南市大田原自然の家）をとりまとめて紹介した。

また、情報発信コーナー「サイトス」における情報発信や自分たちの地域を知るために地域で作成された書籍や映像、関連資料を収集、貸出しを行った。

◎ 財団ホームページの運営

ホームページアドレス：<http://gokan-furusato.org>

◎ 周南市市民交流センター2階 情報発信コーナー「サイトス」でイベントチラシ・公民館講座等の情報提供

◎ 「目で見ると徳山の歴史」「とくやま昔話」等周南市に関わる書籍・映像・資料等の収集・貸出



主な事業費		財源	
書籍・DVD等消耗品	49,666 円	基本財産運用収入	55,000 円
レンタルサーバー等	55,257 円	ふるさと振興基金繰入金	63,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P12

ふるさとの歴史・伝統・文化・食に関する情報やふるさとづくりの活動情報を盛り込んだ機関紙「ふるさとかわら版」を年3回発行とインターネットで発信することで、ふるさとの魅力の掘り起こしを行った。内容については、編集委員による編集会議を開催し、決定した。

アドレス：<http://gokan-furusato.org/zaidan/kawaraban.htm> (過去の内容を掲載)

また、「ふるさとかわら版」の中から数箇所厳選してふるさと探訪を行い、地域への愛着を促進するきっかけとなった。



◎ ふるさとかわら版の内容

発行	内 容	
夏号 No.39	ふるさと探訪：奥関屋地区	あんな風こんな風： 桜木地区コミュニティ推進協議会
	あんな風こんな風： 周陽地区コミュニティ推進協議会	1枚の絵：麦飯町
	昔の遊び：蝉の子釣り	ぞうさんプロジェクト
	山陽道エピソード：石のフォークロアほか	ふるさとの味：手づくり焼き肉のタレ
秋・冬号 No.40	ふるさと探訪：久米地区	活動紹介：長徳軽トラ市実行委員会
	あんな風こんな風： 徳山小学校区コミュニティ推進協議会	1枚の絵：福川駅周辺
	昔の遊び：お正月の遊び	1枚の絵：吉田屋醤油（遠石）
	山陽道エピソード：八幡めぐりほか	ふるさとの味：えそミンチ汁
春号 No.41	ふるさと探訪：和田地区	活動紹介：勝間コミュニティ推進協議会
	あんな風こんな風： 久米地区コミュニティ推進協議会	熊毛北高校～高校生の地域おこし～
	昔の遊び：雪渡り	1枚の絵：福川2丁目
	山陽道エピソード：市戎ほか	ふるさとの味：ハッサクの砂糖漬け

◎ ふるさと探訪

- ア 期 日 平成24年7月20日（金）
- イ 内 容 鹿野アートフェスティバル参加、長野山緑地公園散策
周南クオーツ株式会社見学
- ウ 参加者 20名
- エ 案内人 鹿野アートフェスティバル実行委員 岩田純氏
かわら版編集委員 倉富良枝氏
周南クオーツ株式会社 益田進氏



主な事業費		財 源	
編集委員謝金	45,000 円	基本財産運用収入	195,000 円
機関紙等の印刷製本費	245,700 円	ふるさと振興基金繰入	227,000 円
案内郵送料等	38,534 円	広告料収入	16,000 円

⑳ ふるさと通信会員

決算	555,451 円
予算	590,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P12

周南市出身者、滞在経験者を中心に構成する「ふるさと通信会員」に対して、機関紙「ふるさとかわら版」及び「ふるさと味の宅配便」を送付し、周南市の情報とふるさとの味を楽しんでいただくことで、「ふるさと周南」を思い出していただいた。

また、ふるさと周南への思いの輪を広げるため、「大切な人」への贈り物としての活用を促した。

◎ ふるさとかわら版・ふるさとニュースの発送 年3回

◎ ふるさと味の宅配便の発送 年1回

A：山子ごはんセット

(中須棚田米「泣かす米」・自然生山芋・山子ごはん・むかご)

B：鹿野ファームセット

(チーズウインナー・あらびきポークウインナー・ももハム切り落とし・スモークチキン)

A・Bいずれかを希望選択により発送



◎ 平成24年度の新規会員数：24名

◎ 平成25年3月31日現在の会員数：217名

◎ 会員募集

周南市コミュニティ推進連絡協議会総会、関西山口県同郷会、東海山口県人会、おいでませ山口館、周南市役所、市民交流センター、ふるさと製品の店“こあ”、ホームページ等

主な事業費		財源	
産品代等消耗品	462,366 円	基本財産運用収入	78,000 円
ふるさと通信等郵送料	79,485 円	会費収入	420,000 円
郵便振替手数料	13,600 円	ふるさと振興基金繰入	92,000 円

㉔ 設立20周年記念事業

決算	0 円
予算	0 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P12

財団は、平成24年度に設立20周年を迎え、各事業において「設立20周年」の冠をつけることで財団PRをしていった。また、平成25年度配布に向け、「20年のあゆみ」と題する冊子を作成中である。

◎ 主な冠事業

ア ふるさと発見伝XI (詳細P28)

イ 新春寄席 (詳細P30)

◎ 冊子「財団法人周南市ふるさと振興財団 ～20年のあゆみ～」の作成

主な事業費		財源	
	0 円		0 円

⑳ 体験活動プログラムの提供

決算	0 円
予算	0 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P13

周南市大田原自然の家で、自然や人とふれあいながら学ぶプログラムの提供やそれに必要な情報の収集、研究開発を行った。また、利用が少なくなる閑散期に学習支援として、学校等の要望に応じた出張指導・出前講座を行った。

- ◎ ウォークラリー・ハイキング
- ◎ クラフト（竹細工・木工・陶芸・わら細工等）
- ◎ 自然体験活動（キャンプ・沢登り・川遊び・カヌー・天体観察等）
- ◎ 豊かな人間関係を築く仲間作りゲーム 等
- ◎ 体験活動環境の整備（県からカヌーを26艇譲渡）
- ◎ 出張指導・出前講座（榑浜小学校・中須小学校・夜市小学校・富田東幼稚園、徳山北高校等 14回）



主な事業費	財 源
0 円	0 円

㉑ ネットワーク形成イベントの開催

決算	500,000 円
予算	500,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P13

市民活動の推進、市民交流の促進、ふるさとづくりの育成等を目的とする周南市市民交流センターを活用し、幅広く市民に関心が持てるイベント（「ふるさと発見伝」）を開催し、人・地域・心（思い）の出会いの場となるイベントを支援した。また、周南市の昔の写真展やダンスコンテスト等、内容を充実し、幅広い年齢層に来館していただけるようPRに努めた。

- ◎ 周南市市民交流センター11周年記念事業
「ふるさと発見伝Ⅺ」の開催支援
- ア 期 日 平成24年10月27日（土）
- イ 会 場 周南市市民交流センター
- ウ 来 場 者 約1,500名
- エ 交付団体 ふるさと応援隊
- オ 交付金額 500,000円
- カ 内 容 周南市に関するクイズ大会・ふるさと芸能、周南アーカイヴ、若者を中心としたダンスコンテスト 等



主な事業費	財 源
イベント開催交付金 500,000 円	基本財産運用収入 231,000 円 ふるさと振興基金繰入 269,000 円

⑳ 子ども対象の自然体験事業

決算	9,044 円
予算	10,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P13

自然の中で五感を通してふれあうことで子どもの生きる力を育む体験の場を提供し、将来のふるさとづくりを担う豊かな心を持つたくましい子どもの育成と子育て家族の支援を行った。

- ◎ わんぱく村（春・夏・冬）1～6年生対象
- ◎ 子ども村（春・夏・秋） 高（春）・中（夏）・低（秋）学年対象
- ◎ のびのびいきいき自然児キャンプ（8月 6泊7日）
- ◎ 冬の50kmを歩く少年の旅（12月） 駅ビル～須々万～大田原～八代
- ◎ キャンプはじめのだい一步（5月）
- ◎ ファミリーアドベンチャーカヌーツーリング（9月）
- ◎ 手作りザオとシカケdeさかなつり（5月）
- ◎ ねんどであそぼう！（6月）
- ◎ familyでたなばた（7月）
- ◎ 親子木工教室（8月）
- ◎ 天体教室（春、夏）
- ◎ ネイチャークリスマスリース作り（11月）
- ◎ 正月を迎える家族のつどい（12月）



主な事業費		財 源	
事務用品等	9,044 円	基本財産運用収入	5,000 円
		ふるさと振興基金繰入	5,000 円

㉑ ボランティアと指導者の育成・支援及び連携

決算	10,000 円
予算	10,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P13

周南市大田原自然の家の活動に関わる中学生から高齢者までの幅広いボランティアの育成・支援及び連携を行い、人と交流する喜び、人を大切に作る心や思いやりを育むことで体験活動の充実に取り組んだ。また、3月にボランティアの協力を得て、東北の5つの自然体験施設へみどりの素材の提供を行った。

- ◎ キャンプカウンセラー研修会（9月）
- ◎ キューピーズ養成キャンプ（6月）
- ◎ スキルアップセミナー（2月）
- ◎ ステップアップキャンプ（3月）
- ◎ ボランティア研修会（随時）



主な事業費		財 源	
講師謝金	10,000 円	基本財産運用収入	5,000 円
		ふるさと振興基金繰入	5,000 円

⑳ 他団体との合同事業開催

決算	100,000	円
予算	137,000	円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P14

周南市市民交流センターにおいて、他団体（財団法人周南市文化振興財団）との合同事業を開催し、団体間のネットワークの構築を図り、市民の交流の場を創出した。

また、財団の目的に合う他団体の事業に対して、後援・協力を行った。

◎ 「第12回周南市市民交流センター新春寄席」の開催

- ア 期 日 平成25年1月19日(土) 10:00~11:30
- イ 会 場 周南市市民交流センター2階 多目的広場
- ウ 出 演 桂梅團治、笑福亭呂竹、松鶴家一若
- エ 内 容 落語、漫談 等
- オ 来 場 者 約200名
- カ 備 考 午後開催の新春寄席 in 大道理も共催



◎ 「桜並木歩いて見ん彩」共催

- ア 期 日 平成24年4月1日(日)
- イ 会 場 緑と文化のプロムナード 等
- ウ 内 容 こあ桜まつり・マップ作成 等



◎ 「第3回泥んこ祭り in 長穂」「第2回芝桜まつり」等に協力

主な経費		財 源	
出演者謝金	100,000 円	基本財産運用収入	63,000 円
		ふるさと振興基金繰入	74,000 円

㉑ ふるさとづくり拠点施設の管理・運営

決算	77,374,954	円
予算	81,331,000	円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P14

周南市市民交流センター

市民活動の推進、市民交流の促進、ふるさとづくりの育成等を目的として設置された周南市市民交流センターの管理業務及び使用料の徴収事務を行った。また、周南市におけるコミュニティ及びふるさとづくりの拠点施設として、「ふるさと発見伝 XI」、「新春寄席」等を実施した。さらに、コミュニティ情報局、市民多目的広場の空きを利用して、各地区コミュニティ推進組織の情報提供を行った。

- ◎ 指定管理期間：平成24年度
- ◎ 利用者数：92,239人（H23：91,535人）
- ◎ 使用料収入：1,663,030円（H23：1,598,990円）
- ◎ 利用実績の詳細は35ページのとおり
- ◎ 自主事業（再掲P25、28、30）
- ◎ 多目的広場及び北側壁面を利用した地域づくり情報等の掲示
 （例）桜木地区、久米地区、大津島地区、長穂地区等紹介
 各地区の共通行事の掲示 どんど焼き・さくらの名所等
 市民活動団体の紹介、地場産品紹介



ホームページアドレス：<http://gokan-furusato.org/koryucenter/index.html>

主な事業費		財 源	
人件費	9,497,962 円	周南市指定管理料	44,726,000 円
光熱水費	9,250,925 円	電話料収入	36,000 円
警備業務等委託料	17,567,824 円	コピー使用料収入	30,000 円
放送器材等賃借料等	5,093,883 円		
合 計	41,410,594 円	合 計	44,792,000 円

周南市大田原自然の家

集団宿泊訓練及び野外活動等を通して心身ともに健全な青少年を育成することを目的に設置された周南市大田原自然の家の管理運営業務及び使用料の徴収事務を行った。

さらに、幅広い層を対象とした自主事業を企画し、食農・食育活動や自然の中での体験活動を通して特色ある運営を行い、ふるさとづくり推進プランとの連携を強化して事業を実施した。

また、開所 30 周年として、10 月に記念式典を盛大に行った。

- ◎ 指定管理期間：平成 23 年度～25 年度
- ◎ 利用者数：10,360 人（H23：9,141 人）
- ◎ 使用料収入：667,665 円（H23：535,095 円）
- ◎ 利用実績の詳細は 36 ページのとおり
- ◎ 利用者評価 満足度 3.93 スタッフ 3.97（4 点満点）
- ◎ 家族対象事業

- ・ 大地を耕し作物をつくる家族のつどい（8 回）
- ・ 育てて、食べよう～おおたばら食農学校～（7 回）
- ・ 米こめ大作戦（春、秋） ・ 正月を迎える家族のつどい
- ・ おおたばらどろんこむら（春、夏、秋、冬）
- ・ 自然まるかじり（春、秋）
- ・ キャンプはじめのだい一歩
- ・ family でたなばた
- ・ 親子木工教室
- ・ ねんどであそぼう！
- ・ 自然となかよし☆ネイチャークリスマスリース作り
- ・ 手作りザオとシカケ de さかなつり
- ・ 手作り de 節分
- ・ 桃の節句を迎える家族のつどい
- ・ 手作りピザ工房
- ・ あったか手打ちうどん工房

◎ 一般対象事業

- ・ 天体教室（夏、秋）
- ・ おおたばら収穫祭
- 【開所 30 周年記念式典】
- ・ おおたばら交流会



◎ 子ども対象事業

- ・ わんぱく村（春、夏、冬）
- ・ 子ども村（夏、秋、春）
- ・ のびのびいきいき自然児キャンプ
- ・ 冬の 50km を歩く少年の旅

◎ 指導者対象事業

- ・ キャンプカウンセラー研修会
- ・ キューピーズ養成キャンプ
- ・ スキルアップセミナー
- ・ ステップアップキャンプ



主な事業費		財 源	
人件費	25,856,004 円	周南市指定管理料	32,250,000 円
浄化槽維持管理等委託料	1,462,400 円		
公課費	1,653,700 円		
光熱水費等	3,031,699 円		
合 計	32,003,803 円	合 計	32,250,000 円

周南市向道湖ふれあいの家

市民交流と住民福祉の増進を図ることを目的として設置された周南市向道湖ふれあいの家の管理業務及び使用料の徴収事務を行った。また、隣接する福祉農園で実施される茶園作業の支援、地区コミュニティと共催によるイベント「向道湖ウォークとバーベキュー」を実施した。

- ◎ 指定管理期間：平成 24 年度
- ◎ 利用者数：3,588 人（H23：3,829 人）
- ◎ 使用料収入：55,640 円（H23：57,490 円）
- ◎ 利用実績の詳細は 37 ページのとおり
- ◎ 自主事業



向道湖ウォークとバーベキュー

- ㊦ 期 日 平成 24 年 5 月 13 日（日）
- ㊧ 場 所 周南市向道湖ふれあいの家、向道湖畔
- ㊨ 参加者 26 名
- ㊩ 内 容 向道湖畔のウォーキング、都濃肥牛のバーベキュー、餅つき、ビンゴゲーム

ホームページアドレス：<http://gokan-furusato.org/zaidan/kodofureai.htm>

主な事業費		財 源	
人件費	2,400,331 円	周南市指定管理料	3,969,000 円
光熱水費	727,336 円	基本財産運用収入	28,000 円
警備業務等委託料	552,000 円	ふるさと振興基金繰入	292,000 円
放送器材等賃借料等	280,890 円		
合 計	3,960,557 円	合 計	4,289,000 円

情報収集・提供

- ⑳ ふるさとづくりに関する情報の提供
- ㉑ ふるさとかわら版の発行と探訪
- ㉒ ふるさと通信会員
- ㉓ 設立 20 周年記念事業

活動支援

- ㉔ 体験活動プログラムの提供
- ㉕ ネットワーク形成イベントの開催

人材育成

- ㉖ 子ども対象の自然体験事業
- ㉗ ボランティアと指導者の育成・支援及び連携

環境づくり

- ㉘ 他団体との合同事業開催
- ㉙ ふるさとづくり拠点施設の管理・運営

IV 中山間地域振興プロジェクト

周南市まちづくり総合計画・後期基本計画において、中山間地域振興プロジェクトが重点推進プロジェクトに位置付けられている。

ふるさと振興財団としては、周南市コミュニティ推進連絡協議会の事務局を担当していることから、市の計画の「施策の展開」に示されている「地域コミュニティの充実・強化」に重点を置き、各地区コミュニティと連絡等を密にし、さらに周南市大田原自然の家を活用した「多様なツーリズムの促進」、「こあ」における「農林水産物・知恵・技を生かした経済循環づくり」など、財団が管理・運営する公共施設を拠点として、地域活動の支援・情報の収集と発信を行った。

財団が推進する事業のうち、以下のものを中山間地域振興プロジェクトとしても取り組んだ。

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P15

情報収集・提供

- | | |
|----------------------|--------------------|
| ① コミュニティ情報の提供 | ② 先進地視察 |
| ⑦ 市民活動情報の提供 | ⑪ 地場産品の情報の提供 |
| ⑫ 市内外へ出張による地場産品の普及活動 | ⑰ 地場産品に関する体験講習会の開催 |
| ⑳ ふるさとづくり情報の提供 | ㉒ かわら版の発行と探訪 |
| ㉓ ふるさと通信会員 | |

活動支援

- | | |
|--------------------|------------------------|
| ③ 特色あるコミュニティ活動への支援 | ⑳ コミュニティコーディネーター事業 |
| ⑧ 特色ある市民活動への支援 | ㉒ ふるさと朝市・夕市及び普及イベントの支援 |
| ⑩ 食育体験プログラムの提供 | ㉓ 体験活動プログラムの提供 |
| ㉔ ネットワーク形成イベントの開催 | |

人材育成

- | | |
|-----------------|------------------------|
| ④ ふるさと応援隊の支援・推進 | ⑤ コミュニティアクションリーダー養成講座 |
| ⑮ 食農ボランティア活動の支援 | ⑰ 子ども・家族対象の食農・食育活動 |
| ㉕ 子ども対象の自然体験事業 | ㉘ ボランティアと指導者の育成・支援及び連携 |

環境づくり

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| ⑥ 周南市コミュニティ推進連絡協議会事務局の運営 | ⑳ 地域間ネットワーク形成事業 |
| ⑯ 地場産品推進拠点施設の運営 | ㉑ 食農・食育体験農園の管理 |
| ㉙ ふるさとづくり拠点施設の管理・運営 | |

平成24事業年度 周南市市民交流センター 利用実績

月	区 分	講座室	大会議室	小会議室	多目的広場	合 計
4	使用件数(件)	37	47	49	37	170
	入場者数(人)	836	614	356	5,622	7,428
	施設使用料(円)	54,900	35,310	24,670	4,660	119,540
	冷暖房使用料(円)	2,040	1,920	440	0	4,400
	使用料合計(円)	56,940	37,230	25,110	4,660	123,940
5	使用件数(件)	35	45	56	46	182
	入場者数(人)	1,113	578	385	5,718	7,794
	施設使用料(円)	64,300	54,260	27,840	60,770	207,170
	冷暖房使用料(円)	4,640	4,450	1,200	0	10,290
	使用料合計(円)	68,940	58,710	29,040	60,770	217,460
6	使用件数(件)	31	48	54	36	169
	入場者数(人)	787	688	413	5,673	7,561
	施設使用料(円)	44,750	40,190	27,910	0	112,850
	冷暖房使用料(円)	5,320	4,440	2,710	360	12,830
	使用料合計(円)	50,070	44,630	30,620	360	125,680
7	使用件数(件)	41	44	54	43	182
	入場者数(人)	1,215	704	461	5,981	8,361
	施設使用料(円)	63,580	33,480	30,040	1,910	129,010
	冷暖房使用料(円)	8,920	4,420	2,440	1,320	17,100
	使用料合計(円)	72,500	37,900	32,480	3,230	146,110
8	使用件数(件)	35	48	52	47	182
	入場者数(人)	789	548	341	5,867	7,545
	施設使用料(円)	46,100	34,050	23,140	5,100	108,390
	冷暖房使用料(円)	6,280	3,260	2,200	1,740	13,480
	使用料合計(円)	52,380	37,310	25,340	6,840	121,870
9	使用件数(件)	30	48	49	36	163
	入場者数(人)	770	650	370	5,674	7,464
	施設使用料(円)	50,510	35,640	23,860	0	110,010
	冷暖房使用料(円)	5,480	3,310	2,140	360	11,290
	使用料合計(円)	55,990	38,950	26,000	360	121,300
10	使用件数(件)	40	47	53	54	194
	入場者数(人)	872	583	489	5,771	7,715
	施設使用料(円)	81,450	30,640	23,800	0	135,890
	冷暖房使用料(円)	6,000	1,260	1,220	0	8,480
	使用料合計(円)	87,450	31,900	25,020	0	144,370
11	使用件数(件)	38	51	52	45	186
	入場者数(人)	967	740	447	5,821	7,975
	施設使用料(円)	55,380	45,660	23,420	42,050	166,510
	冷暖房使用料(円)	3,600	2,230	760	0	6,590
	使用料合計(円)	58,980	47,890	24,180	42,050	173,100
12	使用件数(件)	34	63	50	48	195
	入場者数(人)	756	760	468	6,166	8,150
	施設使用料(円)	28,670	41,830	25,910	14,240	110,650
	冷暖房使用料(円)	3,160	2,930	1,920	2,100	10,110
	使用料合計(円)	31,830	44,760	27,830	16,340	120,760
1	使用件数(件)	33	47	44	44	168
	入場者数(人)	748	534	319	5,537	7,138
	施設使用料(円)	36,160	34,690	20,660	1,060	92,570
	冷暖房使用料(円)	3,910	2,760	1,970	240	8,880
	使用料合計(円)	40,070	37,450	22,630	1,300	101,450
2	使用件数(件)	35	47	44	45	171
	入場者数(人)	940	569	376	5,276	7,161
	施設使用料(円)	92,810	34,440	21,430	0	148,680
	冷暖房使用料(円)	5,320	2,270	1,620	180	9,390
	使用料合計(円)	98,130	36,710	23,050	180	158,070
3	使用件数(件)	40	45	53	76	214
	入場者数(人)	811	710	500	5,926	7,947
	施設使用料(円)	41,720	35,960	27,170	0	104,850
	冷暖房使用料(円)	880	1,370	1,820	0	4,070
	使用料合計(円)	42,600	37,330	28,990	0	108,920
合 計	使用件数(件)	429	580	610	557	2,176
	入場者数(人)	10,604	7,678	4,925	69,032	92,239
	施設使用料(円)	660,330	456,150	299,850	129,790	1,546,120
	冷暖房使用料(円)	55,550	34,620	20,440	6,300	116,910
	使用料合計(円)	715,880	490,770	320,290	136,090	1,663,030
前年度	使用件数(件)	384	473	552	485	1,894
	入場者数(人)	11,918	7,499	4,902	67,216	91,535
	使用料(円)	712,180	409,240	290,330	73,150	1,484,900
	冷暖房使用料(円)	59,720	29,490	19,460	5,420	114,090
	使用料合計(円)	771,900	438,730	309,790	78,570	1,598,990

平成24事業年度 大田原自然の家 利用実績

月	区分	学校教育関係				社会教育関係				主催事業	ボランティア	その他	出張指導	合計	使用料 (円)
		小学校	中学校	その他	計	少年 団体	青年 団体	その他	計						
4	実人数			18	18	20			20	133 (30)	15	289	63	538	117,840
	延人数			18	18	40			40	156 (30)	15	508	63	800	
	団体数			1	1	1			1	3	3	11	2	21	
5	実人数	160			160	80			80	466 (188)	15	97	21	839	35,230
	延人数	320			320	80			80	689 (289)	15	159	21	1,284	
	団体数	6			6	2			2	12	5	9	1	35	
6	実人数				0	140			140	289 (146)	26	61		516	37,510
	延人数				0	280			280	294 (146)	26	122		722	
	団体数				0	2			2	12	4	2		20	
7	実人数	36		23	59	349			349	516 (283)	19	216	65	1,224	122,630
	延人数	72		46	118	636			636	525 (292)	19	313	65	1,676	
	団体数	1		1	2	7			7	18	3	20	2	52	
8	実人数		36	56	92	111			111	456 (165)	6	301		966	116,850
	延人数		106	56	162	173			173	977 (350)	6	640		1,958	
	団体数		1	1	2	3			3	13	1	27		46	
9	実人数	21		37	58	11			11	250 (56)	12	140	34	505	69,150
	延人数	21		171	192	21			21	299 (61)	12	187	34	745	
	団体数	2		2	4	1			1	10	3	6	1	25	
10	実人数	63		192	255	40			40	486 (95)	25	50	22	878	47,395
	延人数	126		236	362	79			79	486 (95)	25	61	22	1,035	
	団体数	1		5	6	1			1	11	6	5	1	30	
11	実人数	7			7	18			18	237 (70)	13	97	186	558	32,790
	延人数	7			7	35			35	289 (83)	13	140	186	670	
	団体数	1			1	1			1	9	2	5	4	22	
12	実人数					8			8	185 (76)	14	13	73	293	7,470
	延人数					16			16	295 (102)	14	27	73	425	
	団体数					1			1	8	3	1	1	14	
1	実人数									115 (64)		35	15	165	7,740
	延人数									253 (100)		70	15	338	
	団体数									5		1	1	7	
2	実人数									88 (32)	6		18	112	0
	延人数									88 (32)	6		18	112	
	団体数									4	1		1	6	
3	実人数			33	33	28			28	128 (38)	30	57		276	73,060
	延人数			186	186	70			70	221 (69)	30	88		595	
	団体数			1	1	1			1	6	3	7		18	
合 計	実人数	287	36	359	682	805	0	0	805	3,349 (1,243)	181	1,356	497	6,870	667,665
	延人数	546	106	713	1,365	1,430	0	0	1,430	4,572 (1,649)	181	2,315	497	10,360	
	団体数	11	1	11	23	20	0	0	20	111	34	94	14	296	
前 年 度	実人数	319	0	404	723	617	0	19	636	3,127 (1,055)	149	938	582	6,155	535,095
	延人数	546	0	869	1,415	1,209	0	35	1,244	4,338 (1,387)	149	1,413	582	9,141	
	団体数	13	0	20	33	18	0	2	20	89	25	75	20	262	

※主催事業の（ ）の数値は、参加者数のうち主催事業に関わったボランティアの人数

平成24事業年度 向道湖ふれあいの家 利用実績

月		福祉農園	コミュニティ 公共機関等	自主事業	その他	合計	利用日数 開館日数	使用料 (円)	冷暖房料 (円)	計 (円)
4	利用者数	187	974	0	17	1,178	19	2,300	1,220	3,520
	団体数	7	13	0	2	22	26			
5	利用者数	98	104	34	38	274	16	5,060	0	5,060
	団体数	3	10	1	5	19	26			
6	利用者数	175	72	0	21	268	14	3,220	0	3,220
	団体数	6	7	0	3	16	26			
7	利用者数	151	119	0	24	294	15	2,300	1,380	3,680
	団体数	5	10	0	2	17	27			
8	利用者数	96	51	0	38	185	13	7,620	2,120	9,740
	団体数	4	6	0	4	14	26			
9	利用者数	109	84	0	17	210	13	2,300	1,720	4,020
	団体数	5	8	0	2	15	26			
10	利用者数	124	90	0	18	232	13	2,300	0	2,300
	団体数	5	9	0	2	16	26			
11	利用者数	191	118	0	44	353	19	4,370	3,100	7,470
	団体数	5	11	0	4	20	26			
12	利用者数	73	71	0	0	144	9	0	2,600	2,600
	団体数	2	7	0	0	9	24			
1	利用者数	0	141	0	11	152	8	1,150	2,360	3,510
	団体数	0	8	0	1	9	24			
2	利用者数	0	75	0	21	96	9	3,060	2,800	5,860
	団体数	0	9	0	1	10	24			
3	利用者数	102	76	0	24	202	16	2,300	2,360	4,660
	団体数	5	9	0	2	16	27			
合計	利用者数	1,306	1,975	34	273	3,588	164	35,980	19,660	55,640
	団体数	47	107	1	28	183	308			
前年度	利用者数	1,227	2,143	70	389	3,829	155	41,130	16,360	57,490
	団体数	45	95	2	32	174	307			

V 庶務事項

1 組織

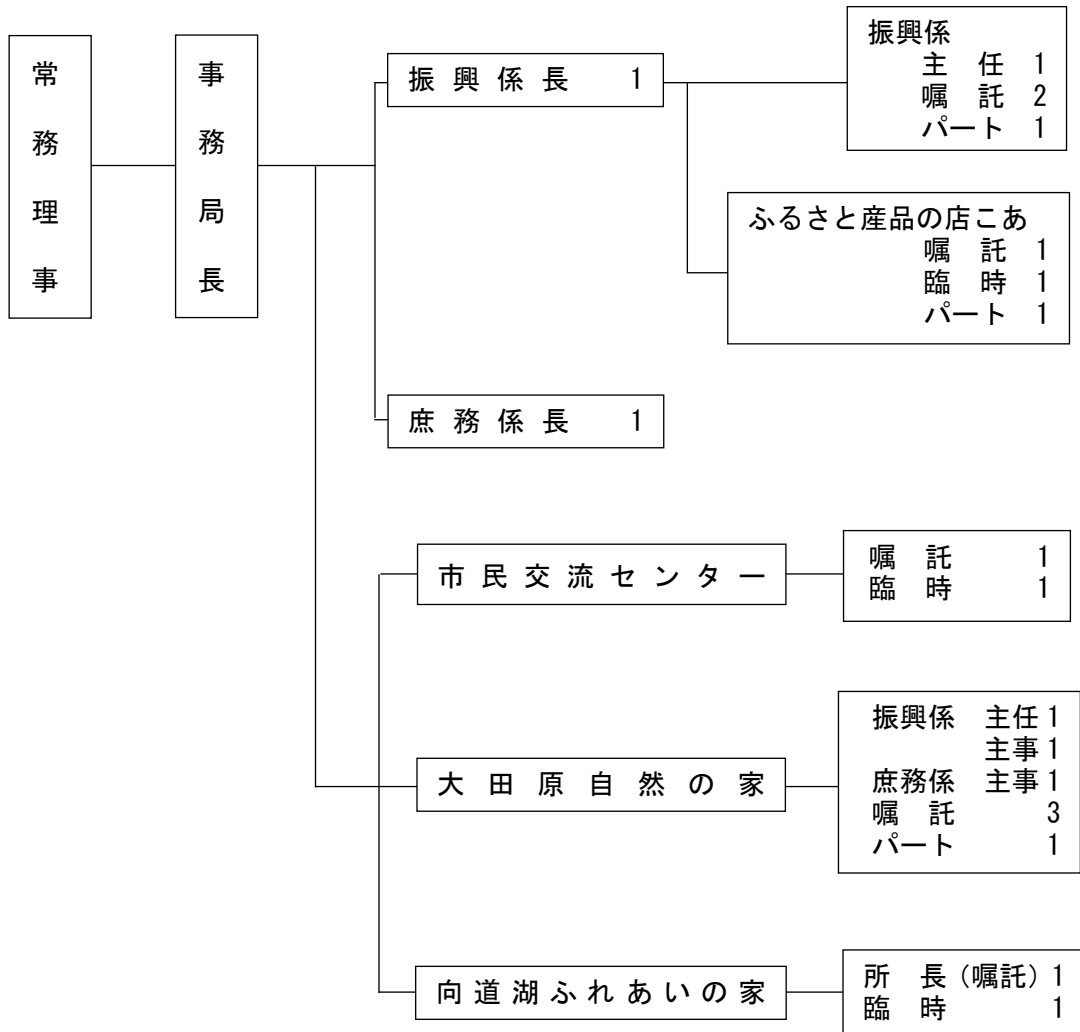
① 理事及び監事

役職	氏名	就任年月日	退任年月日
理事長	木村健一郎	平成24年4月1日	
副理事長	小田敏雄	平成24年4月1日	
常務理事	市川琢治	平成24年4月1日	
理事	村田正樹	平成24年4月1日	平成24年5月27日 "
	宮本治郎	"	
	澤田小恵子	"	
	山田新悟	"	
	守田平人	"	
	松田富雄	"	
	船崎美智子	"	
	村川哲夫	"	
	中村恒愛	"	
	福原和子	"	
	菊地光雄	"	
	福田史郎	"	
	吉谷川亮	平成24年5月28日	
河村保彦	"		
監事	西田了	平成24年4月1日	
	池部博正	"	

② 評議員

役 職	氏 名	就任年月日	退任年月日
評 議 員	石 丸 適	平成 23 年 4 月 1 日	平成 25 年 3 月 31 日
	梶 山 正 一	〃	〃
	岡 本 修 二	〃	〃
	藤 本 敏 路	〃	〃
	堀 本 明	〃	〃
	宮 崎 隆	〃	〃
	山 本 裕 之	〃	〃
	山 崎 道 大	〃	〃
	竹 島 弘	〃	〃
	長 弘 良 坂	〃	〃
	俵 義 紀	〃	〃
	広 実 優	〃	〃
	秋 貞 啓 子	〃	〃
	高 松 ス ミ 子	〃	〃
	杉 本 ヒ サ 子	〃	〃
	今 田 篤	〃	〃
	中 村 秀 昭	〃	〃
	吉 岡 達 文	〃	〃
	藤 井 美 鈴	〃	〃
	小 野 武 人	〃	平成 24 年 5 月 28 日
土 屋 孝 明	平成 24 年 3 月 21 日	〃	
金 岡 泰 成	〃	平成 25 年 3 月 31 日	
内 山 浩 昭	平成 24 年 5 月 28 日	〃	
山 本 浩 嗣	〃	〃	

③ 事業推進体制



2 会議の開催

① 理事会

回	開催年月日・会場	議 案
1	平成 24 年 5 月 28 日 周南市市民交流センター	<ul style="list-style-type: none"> ① 役員の選任について ② 評議員の選出について ③ 平成 23 事業年度事業報告について ④ 平成 23 事業年度決算報告について ⑤ 監査報告 ⑥ ふるさと振興基金設置要綱の改正について ⑦ 平成 24 事業年度補正予算について
2	平成 24 年 10 月 31 日 周南市市民交流センター	<ul style="list-style-type: none"> ① 評議員選定委員会細則の制定について ② 評議員選定委員会委員の選任について ③ 最初の評議員候補について ④ 定款の変更の案について ⑤ 最初の代表理事及び業務執行理事について ⑥ 役員及び評議員の報酬等に関する規程について
3	平成 24 年 11 月 27 日 周南市市民交流センター	<ul style="list-style-type: none"> ① 移行後の評議員、理事、代表理事及び業務執行理事の氏名を「定款の変更の案」の附則に記載する件について ② 移行認定申請について ③ 就業規則の全部改正について ④ 有期職員就業規則の制定について ⑤ 給与及び旅費規程の全部改正について ⑥ 初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の制定について ⑦ 旅費規程の制定について ⑧ 組織規程等の一部を改正する規程の制定について ⑨ 有期職員就業規程を廃止する規程の制定について ⑩ 給与規程細則の制定について ⑪ 会計規程細則の制定について
4	平成 25 年 3 月 21 日 周南市市民交流センター	<ul style="list-style-type: none"> ① 退職手当設置要綱の改正について ② 平成 24 事業年度補正予算について ③ 平成 25 事業年度事業計画(案)について ④ 平成 25 事業年度収支予算(案)について

② 評議員会

回	開催年月日・会場	議 案
1	平成 24 年 5 月 28 日 周南市市民交流センター	① 役員の選任について ② 平成 23 事業年度事業報告について ③ 平成 23 事業年度決算報告について ④ ふるさと振興基金設置要綱の改正について ⑤ 平成 24 事業年度補正予算について
2	平成 24 年 10 月 30 日 周南市市民交流センター	① 最初の評議員候補について ② 定款の変更の案について ③ 役員及び評議員の報酬等に関する規程について
3	平成 24 年 11 月 27 日 周南市市民交流センター	① 移行後の評議員、理事、代表理事及び業務執行理事の氏名を「定款の変更の案」の附則に記載する件について ② 移行認定申請について ③ 就業規則の全部改正について ④ 有期職員就業規則の制定について ⑤ 給与及び旅費規程の全部改正について ⑥ 初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の制定について ⑦ 旅費規程の制定について ⑧ 組織規程等の一部を改正する規程の制定について ⑨ 有期職員就業規程を廃止する規程の制定について ⑩ 給与規程細則の制定について ⑪ 会計規程細則の制定について
4	平成 25 年 3 月 21 日 周南市市民交流センター	① 退職手当設置要綱の改正について ② 平成 24 事業年度補正予算について ③ 平成 25 事業年度事業計画(案)について ④ 平成 25 事業年度収支予算(案)について

③ 評議員選定委員会

回	開催年月日・会場	議 案
1	平成 24 年 11 月 13 日 周南市市民交流センター	① 最初の評議員選任について

3 登記及び届け出

① 登記

登記年月日	登記事項	申請先
平成 24 年 5 月 16 日	平成 24 年 4 月 1 日 理事の変更	山口地方法務局
平成 24 年 6 月 11 日	平成 24 年 5 月 28 日 理事の変更	山口地方法務局

② 主務官庁への届け出、申請

年月日	届け出・申請事項
平成 24 年 5 月 29 日	平成 24 事業年度事業計画書等の提出について
平成 24 年 6 月 7 日	特例民法法人登記完了届
平成 24 年 6 月 22 日	平成 23 事業年度実績報告書等の提出について
平成 24 年 6 月 22 日	特例民法法人登記完了届
平成 25 年 1 月 4 日	移行認定申請書